

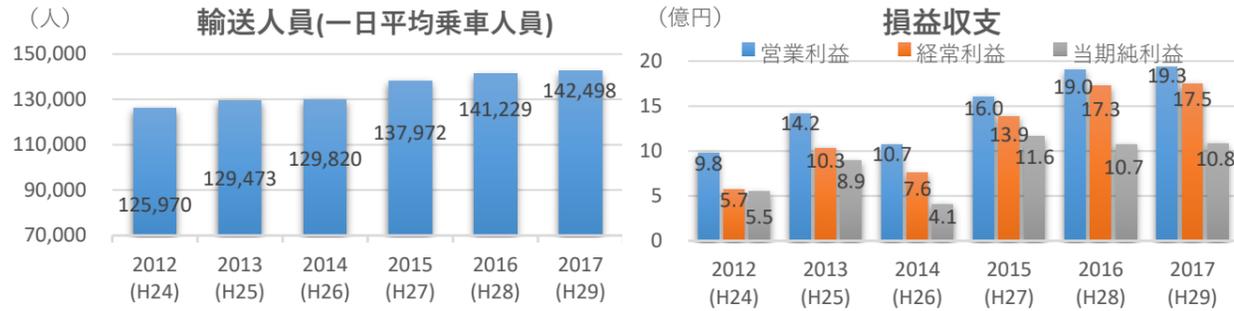
【概要版】多摩都市モノレール 第1期中期経営計画 2018～2021

I 経営の現状

1 堅調な伸びを続ける輸送人員と安定的な経営

輸送人員（一日平均乗車人員）は、沿線開発の進展や増客増収の取組が効果を発揮し、堅調な伸びを続けており、2017（平成29）年度は142,498人となり、過去最高を更新しました。

損益収支は、増収や経費節減の継続的な取組を実施したことにより、10期連続で経常利益と当期純利益を確保しました。



II 中期経営計画の位置づけ

1 計画策定の背景

当社は経営安定化計画策定以降、毎年度黒字を計上し再建が軌道に乗りました。今後は会社の自立と持続的成長を目指す新しいステージに進む必要があります。

2 計画の性格

中期経営計画は、昨年度に策定した長期経営方針に即して、中期的に取り組む具体的な事業を計画としてまとめたものです。

3 計画の期間

長期経営方針は、2028年頃までの概ね10年間を対象期間としており、第1期中期経営計画として2018年度から、多摩地域の人口ピーク及び東京オリンピック・パラリンピック後を見据えた2021年度までの4年間を対象期間として策定しました。

4 第1期中期経営計画における4つの目標

第1期中期経営計画は、経営の現状や前中期経営計画の取組成果、更に人口減少社会の到来が見込まれるなど経営環境の変化を踏まえ、長期経営方針で示した4つの目標に沿って、取組を展開することとしました。

目標	取組内容	目標	取組内容
1 安全の確保	(1)安全管理体制の充実・強化 (2)施設や車両の安全性の確保・向上	2 お客様サービスの向上	(1)お客様の使いやすさを大切にするダイヤの実現 (2)快適で便利な環境の整備
3 沿線地域との連携	(1)多摩モノレールのブランドづくり (2)沿線地域の活性化に寄与するための取組	4 経営基盤の強化	(1)自立した財務基盤の確立 (2)将来を担う人材の育成と組織の強化 (3)更なる未来を見据えた取組

III 第1期中期経営計画の目標と主な取組

1 安全の確保	
(1)安全管理体制の充実・強化 ① 安全管理体制の継続的改善 ・安全重点施策の策定と実施 ・「輸送の安全を考える日」の取組の実施 ② 異常時対応力の強化 ・異常時訓練の実施 ・運行状況など情報発信の強化	(2)施設や車両の安全性の確保・向上 ① 適切かつ計画的な保守管理と更新の実施 ・運行管理システムの更新 ・車両設備の更新 ② 更なる安全性向上のための施設づくり ・支柱や軌道桁の安全性強化 ・ホームモニターの更新
2 お客様サービスの向上	
(1)お客様の使いやすさを大切にするダイヤの実現 ・本格的なダイヤ改正 ・より利便性の高いダイヤの追求	・駅施設の利便性向上 ・車両設備の更新 ② 接遇・案内サービスの充実 ・無人駅における案内サービスの改善 ・分かりやすい案内表記の実現
(2)快適で便利な環境の整備 ① 快適な移動空間の創出 ・駅舎改修	
3 沿線地域との連携	
(1)多摩モノレールのブランドづくり ・ブランディング戦略の展開 ・開業20周年記念事業の実施	
(2)沿線地域の活性化に寄与するための取組 ① 多摩モノレールの特性を活かした地域の賑わい創出への貢献 ・駅や車両、運営基地等を活用した各種イベントの開催 ② 沿線自治体、各種関係機関等と協働した取組 ・沿線自治体や沿線に立地する企業等との連携	
4 経営基盤の強化	
(1)自立した財務基盤の確立 ① 安定した収益の確保 ・安定した運輸収入の確保 ・付帯事業の着実な増収 ② 健全な財務体質づくり ・財務戦略の強化と進捗管理の徹底	
(2)将来を担う人材の育成と組織の強化 ① 社員を活かす制度・環境の整備 ・人事制度の再構築 ・働きやすい職場づくり ② 機能的な会社組織の構築 ・組織体制の再編	
(3)更なる未来を見据えた取組 ・モノレールの延伸への対応	

IV 収支試算

	2018	2019	2020	2021
営業収益	86	87	87	87
営業費	79	70	70	70
営業利益	7	17	17	17
経常利益	6	15	16	16
当期純利益	4	10	11	11

	2018	2019	2020	2021
設備投資	34	30	13	27